

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第二小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・学年に応じた学習カードを用意し、授業の中で活用することで、児童の思考力、判断力、表現力を高めることができた。
- ・リズムトレーニングを実施することで、児童が楽しみながら体を動かすとともに、適切な体の使い方を学ぶことができた。
- ・一校一取り組みとして長縄に取り組んだことで、運動技能の向上と目標に向かう姿勢の醸成につながった。

(2) 課題

- ・校舎改築工事に伴う校庭の規模縮小により、児童の運動時間減少や体力低下が懸念される。
- ・運動技能向上や思考の深化を目的とした ICT 活用の機会が減少している。
- ・児童の主体的な活動を促すため、単元や授業のフローチャートを掲示する。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動遊びを通して、基本的な動きを身に付けられるよう指導する。 運動の手本を視覚的に示し、より正確な動きの習得につなげる。 学年別のなわとびカードを用いて活動に取り組むことで体力の向上を図る。	ICT を活用して、児童が自分の動き等を確認できるようにする。	動画や手本を示し、児童が見通しをもって活動に取り組めるようにする。 学習カードを活用してめあての確認や振り返りが容易に行えるよう工夫する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
高学年の運動の特性につながる動きを身に付けられるよう、スモールステップで活動に取り組む。 学習の導入で運動の手本を視覚的に示し、正確な動きを理解したうえで活動に取り組めるようにする。 学年別のなわとびカードを用いて活動に取り組むことで体力の向上を図る。	ペアまたは小グループでの活動時に ICT を活用し、学び合いの活動の活発化を図る。 身近な生活における健康の課題を見付けるために、自分自身の生活を見直す時間を設定する。	学習意欲を高めるために、グループ編成や場、ルールを工夫する。 集団行動のきまりを守ることを徹底し、用具の正しい使い方や片付け方が視覚的に分かるようにするとともに指導を徹底する。 学習カードを工夫して、生活や健康について見付けた課題の解決方法を考えたり実践したりできるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>各運動の特性に応じた技術を身に付けるために、ICTを活用し、視聴覚教材や手本となる動きを示す。示した教材は、児童がいつでも見返せるようにする。</p> <p>単元の導入時に必ず運動の特性や技能のポイントが分かるよう視覚的な資料を用いながら説明する。</p> <p>デジタル教科書やワークシートを活用し、生活や健康について正しい知識を身に付けられるようにする。</p> <p>学年別のなわとびカードを用いて活動に取り組むことで体力の向上を図る。</p>	<p>ペアまたは小グループでの活動時にタイムシフトカメラ等のICTを活用して、児童が自分の動き等を確認できるようにする。自分の動きと手本となる動きを比較し、よりよい動きや記録を目指すためにどうすれば良いか考えさせるようにする。</p> <p>学習カードの代わりにクラスルームを活用し、学習の見通しをもたせるとともに、毎時間の振り返りを確実に進めるようにする。</p>	<p>学習意欲を高めるために、グループ編成や場、ルールを工夫する。</p> <p>集団行動のきまりを守ることを徹底し、用具の正しい使い方や片付け方の指導を徹底する。</p> <p>生活や健康について見つけた課題の解決方法を考えたり実践したりできるようにする。また、ICTを活用して、児童の考えを共有できるようにし、考えを広げることができるようにする。</p>